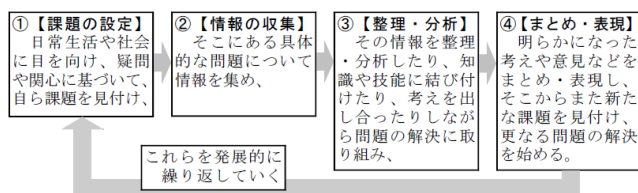


SP タイムについて

校長 相川 保 敏

SP タイムとは相山小学校の探究的な学習・プロジェクト型学習を進める『相ニコプロジェクト』を略してSP タイムと呼んでいます。夏休み号でお知らせしました昨年度研究紀要の、2年生「あそんでためてくふうして」、3年生「英語でお店屋さんをしようー相ニコモール」、6年生「給食の献立を考えよう」などがそれにあたります。

ご存じのように、探究的な学習とは、自ら課題を見つけ、自ら情報を集め、考え、まとめ、表現する学習です。基本的に、下の図のような探究の過程を経て、進めていきます。教師主導ではなく、児童が主体的に学びを進める学習です。



このような学習が必要とされる背景には、急速に進むグローバル化の中で、自ら課題を見出し、その解決に向け、主体的に取り組み、解決を見出していく力が求められているからです。

相ニコプロジェクトでは、[興味・疑問]から[課題設定]を行い、[情報収集]をして[考察]し、[まとめ・発表]を行い、自分の成長について[振り返り]を行っていきます。こうした学習を通して、主体性、思考力、協働性、表現力を高めていきます。1年生から学習する英語とICTも表現する道具となっていく。身近な地域だけでなく本校が取り組んでいる国際交流の場も生かし、国際的な視野から社会貢献も行っていく。このような学習を行うことで、「グローバル社会で活躍できる人材としての礎をつくる」ことを目指しています。

相ニコプロジェクト:SPタイム

1年生	外国人留学生に昔遊び
2年生	覚王山の良さを発信
3年生	外国人留学生に市内紹介
4年生	外国人講師を郡上でおもてなし
5年生	日本のお薦めの場所を英語で発信
6年生	自由テーマ

本年度もこの表のように各学年でSPタイムへの取り組みが進められています。これは国際

交流が入っているものをピックアップしましたが、これ以外に他の取り組み進められています。

課題への取り組み方は、1年生から5年生までは大き

なテーマを設定し、その中で個々の興味のある課題に取り組んでいきます。6年生は、これまでの経験から、自由に個々が取り組みたいことに挑みます。6年生の児童から出された企画書を大まかに分けると、6つのプロジェクトに分かれています。

○ ロボットプログラミング

1年生から系統的に学んだ知識や技術を生かして、コンテストに出場することを目指す。

○ 国際平和

飢餓、アフリカの生活環境改善、難民問題について深く調べる。相ニコグッズを販売して寄付をする。

○ フードロス

夏の宿泊研修での農村体験で、形が悪いだけで野菜が捨てられることから、スーパーに並ばない野菜を使って給食のメニューを開発したり、相山女学園の管理栄養学科と連携して残食調査を実施し、残食を減らしたりする。

○ 動画製作

相山の思い出をまとめたり、地球温暖化問題を低学年にもわかりやすい動画にしたりする。将来、アナウンサーや声優になるために動画編集を学ぶ。

○ ゴミ問題

夏の宿泊研修で、諏訪湖の湖岸のゴミを拾いで海洋プラスチックを拾い、その有効な活用方法を探る。

○ 制服の改善

スカートでは、運動がしづらく、周りの目も気にしななければならない。キュロット型や、パンツスタイルも取り入れられるか検討していく。

このように、相ニコプロジェクトでは、自分の取り組みたいことを、友達と協力し、時には意見を戦わせながら、力を合わせて取り組むことで、実行力や課題解決力を育成していきます。

新春始業式を企画しています。

これまで、コロナ禍で中断されていましたが「初泳ぎ」を行います。換気・スペース等の関係により、2学年で実施します。併せて、「書初め」「かるた始め」も同日に実施する計画です。

初泳ぎ・3・6年、書初め・1・4年、かるた・2・5年